

武井 誠 活動報告

武井 誠 を励ます会

〒350-0253 埼玉県坂戸市北大塚 40
TEL 049-289-2527 ケイタイ 090-9854-5175
<http://www.takei-makoto.org/>
E-mail takei@sakado-gr.org

26号

- ◆共謀罪を廃案に！
- ◆無料法律・年金・市民生活相談案内
- ◆もうすぐ坂戸市議会6月定例会
- ◆生活「環境」を守るために
- ◆投稿：あなたの平和・私の人権

「共謀罪」は「狂暴罪」絶対廃案！

「いいね！」で逮捕、「リツイート」で逮捕

今、安倍政権はテロ対策を口実に「共謀罪」（いわゆるテロ等準備罪）を創設しようとしています。

共謀罪は、市民が政府のやり方に反対することを話しあうだけで処罰される道をひらく、国家権力の「狂暴」化、現代版の「治安維持法」に他なりません。

操作方法も一変します。電話やメールの盗聴、スパイや密告が奨励され、フェイスブックの「いいね！」で逮捕、ツイッターのリツイートで逮捕、といった事態も想定されます。

過去3度も廃案になった「共謀罪」法案。

国会における大臣のめっちゃくちゃな答弁を審議と称し、強行採決をもくろむ安倍政権に「NO！」の声をあげましょう。署名へのご協力をお願いしています。

何一つ「問題」は、決着していない

「2020年までに憲法を変える」という総理の発言が、そもそも憲法違反です。96条から、緊急事態条項、そして今度は9条加憲から教育無償化まで改憲の口実。「改正」提案の内容がころころ変わることには、与党内からも批判の声があがっています。あいつぐ不祥事に対する国民の怒りをはぐらかすかのような改憲の動きです。

「『戦争法』の強行採決」「防衛省の情報隠し」「森友学園問題」「加計学園問題」「教育勅語を認める閣議決定」「沖縄基地建設強行」そして「共謀罪」。ひとつひとつをうやむやにしたまま、暴走しようとする安倍政権に対してブレーキをかけるために、地域から、声をあげていきましょう。

ホームページを毎日更新し、武井誠の活動をお知らせしています。「武井誠」と入力、[検索](#)をクリック。ツイッター、フェイスブックからも発信しています。無料メールマガジンも通算92号になりました。毎月1日、15日に配信しています。ホームページから、お申し込みください。



若葉駅東口前で。共謀罪に反対する市民の方たちと街頭宣伝・署名活動

無料相談会継続中

日常生活での悩みごとに、弁護士、社労士、税理士、心理カウンセラーが無料で相談に応じる会を実施し、大変好評をいただいています。13時～武井誠との市民生活相談、14時～年金相談、15時～法律相談、相談時間は30分です。税務、家庭相談は随時となります（要予約）。

6月は、6月24日（土）

会場は、北坂戸文化施設オルモです

7月は、7月22日（土）

会場は、北坂戸文化施設オルモです

緊急の場合には、有料となりますが信頼できる弁護士事務所、社労士、税理士事務所を紹介します。詳しくは、武井誠ホームページ、又は武井まで直接お問い合わせください。（ケイタイ 090-9854-5175）

もうすぐ6月議会 子育て、環境、教育を質問予定

坂戸市議会6月定例会は、5月31日に開会予定です。武井誠は、3月議会で可決された予算執行が順調にスタートしているか検証しつつ、いままでの質疑・質問の進捗状況等の再質問、そして新しい課題について一般質問を行うべく、準備をしています。

3月議회를振り返って

坂戸市の17年度一般会計予算は282億1千万円(前年度比3.5%減)です。ノンステップバス導入補助、旧コミセン跡に建設された休日急患診療所運営補助、病児保育、公共施設予約サービスなどが新規事業として行われます。

武井誠が再三一般質問で取り上げた「子どもの貧困」についても、調査を行う予算がつかまりました。県内で3番目とのこと。また、図書館の開館日・開館時間について市民要望を12月議会で一般質問しましたが、今年度から祝日の月曜日を開館することになりました。ささやかな成果ですが、報告します。

競輪場外車券売り場サテライト坂戸の問題について質問しましたが、市長の見解は「地域住民の意向を尊重する」というものでした(右ページに関連記事)。

保育園民営化の諸問題

今回、武井誠は全議案に賛成しましたが、一番迷ったのは「坂戸市民間保育所運営事業者選定委員会条例制定の件」についてでした。

市立溝端保育園の民営化に関わる問題です。大きく3つのことが心配されます。①市有地の貸借の問題②職員の雇用の問題③保育の質の問題、一口で言えば「安かろう悪かろう」であってはならないということです。

質疑の中で、ガイドラインを作成するという答弁をえたので議案に賛成をしましたが、今後の長期的展望を含めた市の方針を、6月議会で一般質問しようと考えています。

教職員の長時間労働解消へ

忙しすぎる学校現場、小中学校教職員みなさんの多忙化の問題が、やっと頻繁に新聞等で取り上げられるようになりました。

新学習指導要領では、道徳が教科となり、評価をしなければならない。そのこと自体

大問題ですが、教職員多忙化に拍車がかかることは必至です。良心的な教員ほど悩むと思います。

3月議会で「管理職が一人一人の教職員の勤務時間を把握していないのは労基法違反ではないか」と質問し、記録用紙やパソコンの入力システム等管理方法を検討するとの答弁をえました。

検討の結果について、6月議会で質問したいと思います。

近隣自治体との協力関係を

3月議会において「計画的な行政運営」について質問する中で、自治体間の競争をあおるような国の政策誘導と、近隣自治体との協力関係構築の整合性について質問しました。

「一方の利益が他方の損失になるのではなく、それぞれの強みを生かして地域全体を活性化させるウィン・ウィンの関係をめざす」との答弁でした。もっともですが「言うは易く、行うは難し」です。毛呂山町との間で、右ページのような問題が生じています。市の見解を問いたいと思います。

奨学金制度改善を求める請願

継続審査ののち不採択

3月議会に提出され、私も紹介議員となっていた請願「給付型奨学金制度改善を求める意見書提出の件」は、国会で審議中ということで継続審査になっていました。

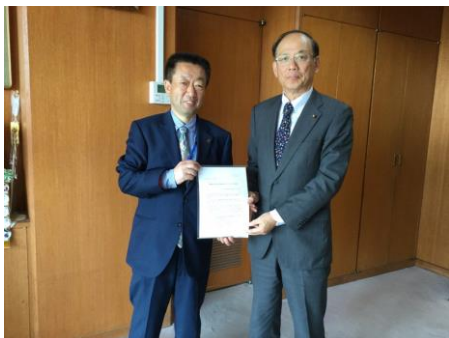
国会で全会一致で法案が可決されたことを受けて、4月26日に開催された総務文教常任委員会で、審査、質疑、討論、採決。2対3で不採択すべきものとなりました。

財源、制度全体のバランス、意見書提出のタイミングなどが不採択の理由でした。

それぞれ考慮すべき点はあるものの、今回の国会議決を評価しつつ、さらなる改善を求め、若い市民やそのご家族の切実な願いを、国会に意見書として送る意義を主張しましたが、認められず、残念な結果となりました。

市民の命が大切にされる環境を

この間、市民の生活環境に関わる要望、情報が寄せられています。一部については6月議会の一般質問でも取り上げつつ、取り組んでいきます。3点について、報告します。



石川市長に競輪場外車券売り場 サテライト建設反対要望書提出

片柳地区の競輪場外車券売り場(サテライト坂戸)建設計画は、未だ中止に至っていません。にもかかわらず、計画を進めようとしている「株式会社 NSC」なる事業者の所在地や連絡先は「説明会」の資料等でも明らかにされず、現在も不明なままです。私は、別途入手した資料で、事業者の

所在地とされている、さいたま市浦和区を調査しましたが、資料に示された住所に、そのような会社は存在しませんでした。責任者の所在も明らかにしないまま計画を進めようとする正体不明の事業者には、全く信用ができません。

もちろんギャンブル依存症の増加、地域の教育環境、交通事情の悪化なども懸念されます。

4月末、以上の趣旨を社民党坂戸総支部として石川清市長に伝え、建設の中止を求める要望書を提出しました(写真)。

毛呂山の企業排水と高麗川水系の水質保全

毛呂山の岡野つとむ町議と町民みなさんから葛川の水質改善について、看過できない情報提供と協力要請がありました。

「毛呂山町東部地区に誘致されたリネンを扱う企業(株)トーカイの工場排水が農業用水路に放流され、葛川の汚染が心配される。ついでには工場排水は公共下水道に接続することを求めている」とのこと。現在、大久保高地対策会(代表峯岸英男さん)が、請願署名に取り組んでいます。私も坂戸市民の一人として、賛同者に名前を連ねさせていただきました。



武井 誠 活動予定

<5月>

- 20日 議会報告会(大家公民館)
- 23日 狭山事件再審請求中央集会
- 24日 埼玉西部地方自治研究会
- 27日 若宮中学校体育祭
- 28日 埼玉10区市民の会 集会
- 29日 人権教育・啓発推進委員会
- 31日 坂戸市6月議会開会(予定)

<6月>

- 2日 議案質疑(予定)
- 2日 落合恵子さん講演会(浦和)
- 4日 戦争反対オール埼玉行動
- 5日 社民党・労組懇談会(川越)

騒音問題・道路拡幅など

そのほか、市民みなさんから道路・近隣施設の騒音や振動による不眠やストレス、車の通行の多い県道端の草刈りの安全確保、狭隘な生活道路の拡幅、通学路の安全確保、道路排水の不備などの要望をいただいています。

そのつど担当部・課に伝え、相談をしています。職員の方々も真剣に受け止め、一緒に考えてくれるのですが、なかなか一気に大きく前進することが少なく、残念です。

問題の大小にかかわらず、すぐに動く。結果の良し悪しにかかわらず、必ず報告する。この二つの原則はこれからも守り、粘り強く行動します。

あなたの平和・私の人権 ～連載：市民の声②～

前号からスタートした「リレー エッセイ」のコーナー。平和・人権・環境・雇用・産業・健康・福祉など、様々な方の声を掲載させていただいています。今回は「郡山の子どもたちと遊ぶ会」の事務局で活躍する若い仲間からのメッセージです。

繋がること、繋げること

市内在住大学生 N. K

東日本大震災から6年。当時中学1年だった私は大学1年、人の幸せを支える人間になるべく、社会福祉の道に進み、日々勉強しています。その傍ら武井さんたちと共に「郡山の子どもたちと遊ぶ会」で活動をしています。尊敬できる先輩方に囲まれ、多くの学びやその実践、成長の場になっています。昨年11月には福島に行き、初めて自分の目で被災地の現状を見ました。

何年経とうとも、先の震災や原発事故を風化させぬよう啓発するとともに、復興支援に向けてアプローチをすること、とりわけ、今後の社会を担う子どもたちのため、私達が震災・原発事故にかかわる諸問題について考え、行動を起こすことが重要です。

郡山の子どもたちと遊ぶ会の活動が多くの方にとって、そのきっかけになり坂戸と福島を繋ぐ糸となることを願います。

先月、パルシステム埼玉様より助成金を頂き、



ち・ご期待に添えるよう、7月の宿泊活動を必ず成功させ、郡山の小学生に楽しい夏休みをプレゼントしようと気持ちを新たに致しました。

このような人の繋がりや地域間の繋がりがあることは、坂戸の魅力だと思います。子どもたちの健やかな成長と笑顔のため、今後も多くの仲間と繋がり、坂戸と福島を繋げていけるよう努めて参ります。

今年も実施します、集団宿泊活動

広げよう小さな輪 2017 in 坂戸

- 期日 2017年7月27日から31日
場所 入西地域交流センター
小川げんきプラザ(30日のみ)
内容 27日 歓迎会(流しそうめん)
28日 学童クラブとの交流会
29日 環境学習 川遊び
30日 プール遊び
キャンプファイヤー
31日 工場見学など

ボランティア希望の方は武井まで

主催：郡山の子どもたちと遊ぶ会
後援：坂戸市・教育委員会・社会福祉協議会・郡山市教育委員会・生協パルシステム 他

被爆72年 平和の原点を見つめましょう

ヒロシマ市民の描いた原爆絵画展

期日 2017年8月26日(土)、27日(日)
会場 坂戸市文化施設オルモ(北坂戸駅東口前)

特別企画 映画「太陽の蓋」上映会

8月27日(日)13時30分～

前売券大人 800円

高校生以下 500円

小学生以下 無料

<日々往来>入西地域交流センターの定期利用団体、坂戸ギタークラブ(代表:武井)の会員が30人を超えました。6月には善能寺の交流サロンに、10月には勝呂公民館での「年中行事語り部の会」さんとのお月見の会にお招きをいただきました。交流センターの秋の文化祭でも発表をします。ゆるーく、楽しーくやっています(^_^)v。